

様

年 月 日

病名 心房粗動・心房頻拍 症状

入院病日経過 月 日	入院～治療前日	治療当日	治療後1日目	退院日
目標	心筋焼灼術について理解ができる	不安や痛みを表出し安静を守ることができる	合併症が起きず日常生活の知識を身につけ退院できる	
指導・説明	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より説明があります。(ご家族と一緒に) 麻酔科医師の訪問があります。 病棟看護師、集中治療室の看護師より説明があります。 希望時、栄養士より食事指導が受けられます。 《準備するもの》 ・T字帯 1枚、ストロー又は横飲み 特別な栄養管理の必要性 有・無 	《治療前》 ・朝、採血をします。 ・治療前1食は禁食、治療後1食はおにぎりになります。 ・禁食時の薬は少量の水で飲んで下さい。 ・医師の指示で糖尿病薬とインスリン注射、抗凝固薬が止まる場合があります。 ・集中治療室1泊入室の準備をしてください。 ・血圧、脈拍、体温を測定します。 ・点滴を開始し、尿管を入れます。 ・穿刺部(両足の付け根)を除毛し、前貼りをします。 ・動脈触知部位(足の甲)に印を付けます。 ・弾性ストッキングをはきます。 ・寝衣は全て脱ぎ長寝巻をかけていきます。 ・貴金属、入れ歯等、身につけているものをすべて外して下さい。 ・1階の血管造影室へベッドで行きます。  	・集中治療室から病棟に戻ります。 ・40歳以上の方は、別紙《総合機能評価表》を用いて総合的な機能評価を行う場合があります。 ・制限食が続きます。 ・医師の指示で、内服薬の調節が行われることもあります。 ・薬剤師より内服薬の説明があります。    	・退院後の日常生活や再診日について看護師から説明があります。 
食事	・塩分やカロリーが制限された食事になります。 ・経食道心エコー検査の為、昼食は禁止です。  			
点滴注射内服薬	・内服薬やインスリン注射、お薬手帳を持参し看護師に渡してください。 ・医師の指示で中止になる薬もあります。 ・点滴の針を入れ当日に備えます。			
検査活動処置	・心電図の機械を付けます。 ・血圧・脈拍・体温・体重測定を行います。 ・入浴は可能です。 ・原則、病院内を自由に歩けます。 ・弾性ストッキングのサイズを合わせます。 ・点滴をして経食道心エコー検査を行います。   	注意 ・治療中・治療後の安静中に胸部症状がありましたらすぐに知らせて下さい。	・朝、心電図と採血をとります。 ・レントゲン撮影があります。 ・穿刺部を消毒し絆創膏を貼ります。 ・弾性ストッキングを除去します。 ・入浴はできないので、体を拭きます。 ・尿管を抜き、病棟内を自由に歩かことができます。	・穿刺部を覆ったまま、シャワー浴が可能になります。(入浴は治療後5日目より可能になります。) ・心電図の機械を取り、病院内を自由に歩かことができます。 
その他	・眠れない時は申し出て下さい。 ・胸部症状がありましたら看護師に伝えて下さい。	《治療後》 ・集中治療室に向かいます。 ・血圧、脈拍、体温を測定し、心電図検査を行います。 ・帰室後3時間は絶対安静、その後は朝までベット上安静です。 出血を防ぐためにとても大切です。 ・医師の指示で抗凝固薬を再開します。 ・医師より治療結果の説明があります。(ご家族と一緒に) 	・穿刺部の痛みや胸部症状がありましたら、看護師に伝えて下さい。 ・概算は退院前日にお知らせします。(※場合によっては概算できないことがあります。) ・退院当日に外来棟1階⑤お支払(退院精算)で精算して下さい。(休診日の場合は入院棟1階、28番救急外来受付になります。) ※場合によっては後日清算となる場合があります。	

(主治医) _____ 印

(主治医署名) _____

※主治医の押印がある場合は不要

主治医以外の担当者 (看護師) _____
 (薬剤師) _____
 (栄養士) _____

年 月 日

病 棟	6階みなみ 入院 フロア
主 治 医	
退 院 日	月 日
退院後の治療計画	<input type="checkbox"/> 当院当科外来で通院治療を行います。 <input type="checkbox"/> 他院 () で通院治療を続けます。 <input type="checkbox"/> その他
退院後の療養上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規則正しい通院 ・ 塩分制限 <input type="checkbox"/> その他
保健医療サービス 又は 福祉サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にありません
そ の 他	